

聖香油ミサ

4月13日(水)午前11時

司式 前田万葉大司教

大阪カテドラル
聖マリア大聖堂

☆司祭叙階 金・銀祝のお祝いも行われます。

福者ユスト高山右近殉教者 列聖祈願のつどい・ミサ

「福音」となった右近の死



第一部 つどい

2月5日(土)、「福者ユスト高山右近殉教者列聖祈願のつどい・ミサ」が大坂カテドラル聖マリア大聖堂で開催された。プログラムは第一部の「つどい」と第二部の「右近列聖祈願ミサ」で構成された。教区内にまん延防止等重点措置が発令中であつたが、100人余りが参加し、ともに祈りをささげた。

の再出発をいいたしましう」と意気込みを語った。つどいのプログラムは、教区に「右近の生涯図10点」を寄贈された画家の村田佳代子氏による講演、ご息女で声楽家の望氏による歌唱、『悠遠の人・高山右近』の著者、塩見弘子氏による講演の三本立て。

コロナ禍のため参加者は登録制としたが、教区中の信者に参加を呼びかけた。シノドス(世界代表司教会議)のテーマの「共に歩む教会」への取り組みの中で大きな体験となった。前田万葉大司教は開会の挨拶で、ユスト高山右近列福5年を記念するこの日に、コロナ禍を乗り越えて共に列聖を祈る集いを催すことができたことを感謝したいと述べ「この集いを教区あげて右近列聖に向けて

声楽家の望氏のアヴェ・マリア三曲(バッハ・グノー作、ウラディミール・ヴァイロフ作、レイジー・ルツツイ作)が聖堂に高らかに響き、感動のうちにつどいは始まった。



塩見弘子氏(右)著作の朗読をする村田望氏(左)。講演中、故・溝部修司教(仙台・高松教区、スクリーンの写真)の右近列聖運動の尽力にも触れた。

次に、村田佳代子氏に教区から感謝状が贈られ、香代子氏は制作にあたって自ら現地で取材とスケッチをし、歴史画を描かれたことなどを講演で話された。塩見弘子氏は、著書の視点と背景を説明。右近が仕えた3人の戦国の支配者に焦点をあて、それぞれを「右近に一目を置いた織田信長」「右近を惜しみなく称賛した豊臣秀吉」「右近を恐れた徳川家康」と描いたと話された。右近がすべてを捨てきつて、天国で私たちの歩みを見ておられることを想い、列聖への祈りに励むことを誓った。

(文・右近とともに歩む会)

画家・村田佳代子氏へ教区からの感謝状贈呈



第二部 列聖祈願ミサ

つどいに続き、列聖祈願ミサが前田大司教の司式で挙行された。

ミサ中、急用のため急遽来阪できなかった教皇大使レオ・ボッカルディ大司教の説教が酒井俊弘補佐司教によって代読された。この中で、大使は「彼(右近)の生涯とあかしは、今日の私たちに、殉教はキリスト教的生活の理想の形であるという真実を呼び起こさせます。教皇の務めの一つには、一人の兄弟の死が『福音』となったことを宣言する権威があります。教会において聖人と宣言されることは、皆に、彼の人生が福音を体現したことを告げることに他なりません」と語り、高山右近が自身の生き

方をおして多くの人びとに福音を告げ知らせたことを示した。また「人間の真の価値とは、どのくらい愛を持って仕え、生きたかによってはかられるのです」と続け、貧しい人びととともに生き抜いた福者高山右近の模範に倣って、私たちが生きることが求めた。

ペトロ岐部と187殉教者の列福から14年、ユスト高山右近殉教者の列福から5年が過ぎた。日常生活ではあまり福者たちのことを意識することも多くなかったかもしれない。これを機会に、改めて先人の思いに心を寄せ、日本の福者たちの列聖を願い求めたい。

(文・列聖推進委員会
委員長 春名昌哉神父)



教皇大使の説教を代読する酒井司教。大聖堂右手奥の「右近コーナー(聖遺物安置所)」周りに「右近生涯図10点」が展示されている。説教全文はこちら▶



カトリック墓地 納骨堂・納骨所 使用者募集

大阪教区の信者の方のみがお申込みいただけます。詳細は資料をお送りさせていただくほか、インターネットでもご覧になれます。教区ホームページ右上のこのバナーをクリック▶

カトリック墓地
納骨堂・納骨所

資料請求やお問い合わせは
教区本部事務局 管理課 竹中まで
☎ 06-6941-9705

わたしは復活であり、命である。
ヨハネ11・25



信仰の時間

ABCラジオ
(朝日放送)
AM1008/FM93.3

毎週日曜日

5:50~6:00AM

朝一番、祈りのひと
ときをもちませんか

4月担当: エリック・パウ

チスタ・デ・グスマン 神父
スマホアプリのradiko(ラジ
コ)でも聴くことができます。

セクシュアル・ハラスメント 相談窓口

電話番号: 06-6941-9718

相談窓口受付時間

月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時~午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は守られます。

大阪教区のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療

ホスピス(緩和ケア)
リハビリ・神経内科
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会

理事長 前田万葉 大司教
チャレン 松本信愛 神父

〒562-8567
箕面市栗生間谷西 6-14-1
☎ 072-729-2345

医療法人ガラシア会



司祭叙階金・銀祝おめでとうございます



金祝 (叙階50周年)



新田壮一郎神父
(オブス・デイ属人区)

1941年1月27日生まれ。イタリアとスペイン留学後、72年8月13日、マドリッドで司祭叙階。

バルセロナのビアロ学院、その他のセンターを中心に司祭職に専念。73年帰国し、セイドー文化センターおよびその他の司牧に従事。その間、学校法人

銀祝 (叙階25周年)



高橋 聡神父
(神戸西ブロック)

1966年7月29日兵庫県加古川市生まれ。1997年3月20日加古川教会で司祭叙階。三田教会助任、梅田、堺、かわちブロックで共同司牧。神戸西ブロックで共同司牧(明石教会居住。明石・北須磨担当)。趣味は、読書・音

無宗教人間が洗礼、オプス・デイの召し出し、叙階と、順に受けた恵みの跡を振り返ると、神のなさり方の不思議を思い、感謝している。と同時に、大勢の人びとのさまざまな援助にも心からお礼を申し上げます。残念なことは25年前、この場で共に銀祝を祝っていた後藤進神父が先に逝ってしまったことだ。

経歴とコメントは、お二人で本人からいただきました。

楽鑑賞。

銀祝にあたり、司祭叙階後3か月ほど続いた新鮮な気持ちを感じ出しています。最近、基本に帰るよう招かれているように感じます。念禱(黙想)の時間を持つ、司祭にゆだねられた祈りやミサを忠実に献げるなどのことですが、基本に忠実に立ち返りながら、今叙階を受けたような新鮮な気持ちでもう一度、一歩を踏み出していきたいと思っています。司祭生活を続けるにあたって、マリア様には助けていただいたと思います。多くの人と一緒に天国に行けるように頑張りたいです。

北須磨教会堅信式

春の雨、恵みの雨



2月13日(日)10時、北須磨教会で酒井俊弘補佐司教司式で、二人の受堅者の堅信式が行われた。55人ほどの信者が集まり、この日の喜びをともにした。

当日は、小雨模様の寒い一日。酒井司教は「ヨブ記からも分かるように、春の雨はなくてはならない恵みです」とミサの説教を始めた。そして力強くこのように語りかけた。「堅信の秘跡をおして聖霊が豊かに注がれ、私たちは大きく変わることができません。大きな奇跡はできないけれども、奇跡を起こすこ

参加者の感想

厳かさのなかにも優しさが聖堂に満ちていき、答唱「しあわせな人、神をおそれ、主の道を歩む者」が慈雨のように心に染みていきました。

とはできます。教皇フランシスコの回廊『兄弟の皆さん(2021年)』にもあるように、『無関心がはびこる中、自分の心配事や急ぎの用事は二の次にして……励ましのことばをかけ、話を聞くために時間を作る、そんな優しい人が現れる』のも奇跡。そんな小さな奇跡のなかに聖霊は豊かに働きます」。



受堅者、家族、代父母、司式者と

2022年春 司祭・司牧者 人事異動 (第一次)



2022年2月10日

教区の皆さま

大司教 前田万葉

+ キリストの平和

2022年春の司祭・司牧者人事異動を発表いたします。それぞれの任地に派遣される神父様方、どうぞよろしくお願いいたします。教区外へ異動される司祭・修道者の皆様には、これまで大阪教区のために献身的にお働き下さったことに心からお礼を申し上げます。

異動は以下のとおりです。姫路地区から順に地区単位で記載しています。異動の時期についてですが、これまでは原則として復活の主日後の1週間で順次移られることとしておりましたが、聖週間後に引越しの準備等を落ち着いていただくために、原則として復活節第2主日4月24日(日)からの一週間内に移っていただき、5月1日(日)より正式に新しい教会に着任するようにしてください。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、異動される皆様も異動されない皆様も、ともに福音の喜びを人々に伝える働きをしていただきますよう、心からお願いいたします。

以上

※以下、新任地。かつこ()内は前任地など。Bはブロックの意

【姫路地区】

姫路・佐用<姫路中B>主任

▶Fr. ジュドネ・トンバ・ディパ C.I.C.M. (教区外)

【神戸地区】

六甲<神戸東B>主任

▶Fr. 英 隆一郎 S.J. (教区外)

神戸中央<神戸東B>協力

▶Fr. ジェローム・バダモ・サルトル C.I.C.M. (教区外)

神戸中B共同

▶Fr. 安受祐 (かわちB協力)

神戸東B共同・豊岡小教区管理者

▶Fr. 赤波江 豊 (事務局長・神戸東B協力)

日本語研修・神戸東B協力

▶Fr. 金台根 (日本語研修)

【阪神地区】

芦屋<阪神夙川B>主任

▶Fr. 川邨裕明 (芦屋・甲子園<阪神夙川B>主任)

夙川・甲子園<阪神夙川B>共同・モデラートル

▶Fr. 李昇倫 (夙川<阪神夙川B>共同)

夙川・甲子園<阪神夙川B>共同

▶Fr. エマニュエル・ポポン M.E.P. (神戸東B共同)

武庫之荘<阪神尼崎B>主任

▶Fr. ヘスス・マリア・モラレス S.X. (教区外)

【大阪北地区】

大阪梅田・関目<梅田B>共同・モデラートル

▶Fr. 松浦信行 (教区外)

【大阪南地区】

布施・枚岡<かわちB>主任

▶Fr. 上田 憲 (布施・八尾・枚岡<かわちB>主任)

【岸和田地区】

いずみブロック協力

▶Fr. フェリペ・デ・ヘスス・ロペス・オロッコ S.X. (教区外)

貝塚・熊取<りんくうB>主任

▶Fr. ワユディ・デンニ S.X. (武庫之荘<阪神尼崎B>主任)

【和歌山地区】

和歌山紀北共同

▶Fr. グエン・クォク・トゥアン (神戸中B共同)

【教区外へ】

▶Fr. ガッラ・ウィフリデウス C.I.C.M. (姫路・佐用<姫路中B>主任、豊岡小教区管理者)

▶Fr. アルフレド・セゴビア S.J. (六甲<神戸東B>主任)

▶Fr. カルロス・ムニジャ I.E.M.E. (大阪梅田・関目<梅田B>共同)

▶Fr. マルコ・ヴィゴロ S.X. (貝塚<りんくうB>主任)

▶Fr. クラウディオ・コデノッティ S.X. (熊取<りんくうB>協力)

【その他】

事務局長・八尾<かわちB>主任

▶Fr. 崔周永 (事務局長補佐)

ドムスガラシア チャブレン協力

▶Fr. 梅原 彰 (夙川<阪神夙川B>共同)

【司牧体制の変更】

*豊岡教会の主日ミサは神戸東Bから協力。

*和歌山紀北<紀北B>は協力宣教司牧から共同宣教司牧に変更。担当はFr. パウロ・セコ(モデラートル)とFr. グエン・クォク・トゥアン(共同)。



中央で司教杖をもつのが中村大司教

長崎教区 ペトロ 中村倫明大司教着座式

みちあき

2月23日(水・祝)午前10時半から長崎教区浦上司教座聖堂で、同教区の補佐司教であった中村倫明師の着座式が行われた。新大司教は「大司教というのは『一人がやるんじゃないんだ。みんなと一緒にやるんだよ』ということ。を教皇様は何よりもご存じだと思います。どうぞ皆様方、これから共に、一緒によろしくお願ひいたします」と司教団と参列者に感謝のあいさつを述べられた。



司牧者がリレー形式で若者たちに読んでほしい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は酒井淳神父様(阿倍野ブロック)が担当。



『奉教人の死』(芥川龍之介著、新潮文庫、2001年、473円(税込))

『鼻』、『蜘蛛の糸』、『羅生門』など、学校の授業で少しかじったことがある。新人文学賞のタイトルで名前は知っている。でも、昔の作家でしょ、あんまり感心ない……。そんなクリスチャンの若い人に読んでほしいのが、芥川龍之介の短編集『奉教人の死』(1918年)です。

芥川龍之介は100年も前の大正時代に活躍した作家ですが、彼には「キリスト教を題材にした作品群があり、その中から発表年代順に11編の作品を選んでまとめたものが、この短編集です。

まず、短編集なので読み

やすい。そして「キリスト教のもの」なのでクリスチャンには琴線に触れるシーンが多いです。文体に当時の口語のスタイルが使われていて、耽美的な響きと程よい抵抗感も味わえます。

『おぎん』から、少し書き出してみます。主人公の娘が奉じている(信じている)信仰の内容を作者が説明するくだりです。

『深く御柔軟、深く御哀憐、勝れて甘くまします童女さんた・まりあ様』が、自然と身ごもった事を信じている。

『十字架に懸り死し給い、石の御棺に納められ給い、大地の底に』埋められたぜすす(イエス)が、三日の後よみ返ったことを信じている。

ひとつめの文ですが、かつこの部分はキリスト教時代の活版印刷による教理本『どちらな・きりしたん』から、聖母賛歌(サルベ・レジナ)の一節がもとにされているそうです。

訃報

Sr. M. モニカ鹿島玉井(聖フランシスコ病院修道女会)は2月13日、老衰のため姫路にて帰天。97歳。埼玉県出身。奉献生活71年。



日本宣教の邦人第一期生の一人として、創設期の喜びと苦勞を宣教女たちと共にした。縫製力に秀で、姉妹の会服や日曜学校の子ど



もたちの劇に必要な服や飾り物の作成に惜しまず従事した。また趣味と実益を兼ねたオルガニストとしても修道院や教会で奉仕した。姫路・東京・長崎に派遣され、いつも神に信頼した明るさをもつて出会う人を励ました。



物語は、幼少で両親を失い、長崎の信徒夫婦の養女となつたおぎんが禁教令の布かれるなか、家族ともども捕縛されてしまう話です。はりつけの刑場で思わぬ展開となるのですが……。

他にも、クリストロア、ジャンヌ・ダルク、細川ガラシャなどをモチーフにした作品も楽しめます。

洗礼は受けているけれど……、子どもの頃、教会には行っていたけれど……、ちゃんと日曜日にはミサに行くけれど……。そんなケレドな信仰生活を過ごしている方に、古くて新しい刺激的な物語の一冊です。

今回は、野田正弘神父様(北摂西ブロック)です。



「信仰の時間」

ABC ラジオ(朝日放送)

毎週日曜日 5:50~6:00AM

2月担当: 松永 敦 神父(神戸中ブロック)

ルカ6・43-45 良い木とよい実

(27日放送分より)



——「悪い実を結ぶ良い木はなく、また、良い実を結ぶ悪い木はない。木は、それぞれ、その結ぶ実によって分かる」。

その木が良いか悪いか判断できるのは、その結ぶ実によってだとイエス様は言います。続く箇所には「人の口は心からあふれでることを語るのである」とあります。私達が語るの、心にはないものではなく、心からあふれ出た言葉なのだと、ここですべてを語っています。

この二カ所を対応させて考えると、「私達」が「木」で、心からあふれ出た「語り」が「実り」と考えられます。私たちの語った言葉によって良いか悪いか判断されるのですが、良し悪しの基準は一体何でしょうか。

そこで、植物の果実について考えたいと思います。果実を実らせるのは被子植物で、果実の中には種子、いわゆる種を含んでいます。どの植物においても、種は子孫を残す、あるいは増やす目的があります。しかし、植物は歩くことができませんので、何らかの方法で種を遠くへ運ばなければなりません。そこで植物はさまざまな手段を用いて、種を運ぶ戦略を取ります。

たとえばタンポポは風で遠くへ飛ばすという方法を採用しています。他にも引っ付き虫のように動物や人にくっついて散布してもらう手段を選んだ植物もあります。そして、果実を実らせるものは鳥などの動物に食べてもらうという方法をとったものです。ですから、種子を遠くへ運ぶという目的から考えると、福音

の中で言われている果実が良いか悪いかの判断基準は、種をより広く、より遠く、より多く蒔いたか、です。そして、それを判断できるのは私たちというよりは、のちの時代を生きる人びとではないでしょうか。その理由は、種の性質を考えればお分かりになると思います。

小学校で学ぶ発芽の3条件は、適切な「温度」「水」「空気」です。3つ目の空気が必要な理由はタネも呼吸をしているからです。よく3条件に間違えられる「光」は、多くの植物の種が必要としているものの、必要としない植物もあります。ですから、種は都合の悪い環境では発芽しないということです(※)。

具体的な例を挙げます。2009年にトルコのセイトオメル遺跡の約4000年前の地層から3粒の種が発掘されたというニュースがありました。この種を栽培すると、発芽したのだそうです。つまり、約4000年も種として生き延びてきたことになります。というように、種は条件がそろわなければ発芽しません。

聖書の言葉も同じだと思います。私たちと同時代を生きているクリス

チャンの中に「立ち返れ」というエゼキエル書の主の言葉(33・11)によって回心した人や「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するのか」という使徒言行録(9・4)のイエス様の言葉によって回心した人がいることから分かるように、みことばの種が発芽するのにも条件がそろう必要があります。

クリスチャンは福音に基づいた生き方をします。イエス様のように語り、イエス様のように行うように心がけています。しかし、誰にでも弱さがありますから、まったくイエス様と同じではありません。そのように考えると、例えの木は私達で、実は語り、そして果実の中の種はみことばと解釈できます。

イエス様のように生き、イエス様のように語ろうと心がけていれば、みことばの種は私たちの語りという果実に包まれながらも、他者のうちに蒔かれるということではないでしょうか。そのような希望をもって福音を伝えてまいりましょう。

(※)【参照】田中修『タネのふしぎ』サイエンス・アイ新書、2012年

イエスになろう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

その少年は私を睨みつけるようにして座っていました。そして全身で怒っていました。数年前の少年鑑別所の面接室でのことです。彼が落ち着くのを待って、なぜカトリックの教誨師を呼んだのかと尋ねたら、彼は生い立ちから話し出しました。生まれた時にすでに父は不在、母のもとで一応育てられたが、その母は育児放棄、近所の人が見かねて世話をしてくれたそうです。ガスも電気もよく止められ水道までも。学校もロクに行けず、中学生くらいから暴力団に出入りし使いパシリをしていました。犯罪に手を染め逮捕され鑑別所に。そこで宗教教誨師を受けられると聞き、幼い頃のことを思い出したそうです。家の近所にカトリックの教会があつて、その庭でよく遊んでいて、そんな時神父さんがとてもやさしく親切にいつも声をかけてくれたことを。それで宗教教誨を受けられるのであれば「カトリックを」と希望したので。私はその教会と神父（故人）をよく知っています。あの神父さんならそうだろうと。

その後、少年は少年院に送られました。大阪からとても遠い所にあります。もう会うこともないと思っていたら手紙が届き、会いた

私は毎月面会に行くことになりました。会うたびに彼は明るく穏やかな表情になってゆきました。少年院の規則正しい生活、厳しいが、愛のある教官たちの教育。そして何よりも食事に

きょうかいし

教誨師のささやき

教誨師を続ける中で出会った少年

眞面教会主任 矢野 吉久

よる影響が大きいのと思います。少年院の食事は質素です。インスタントのものは出ません。カロリー計算し調理したもの、必ず煮炊きした食事が供されます。飲み物も麦茶のみ。彼は捕まるまでお手軽なファーストフードやコンビニで売っているもので飢えをしのいでいました。少年院では食事らしい食事をするようになり心身ともに落ち着いたのです。

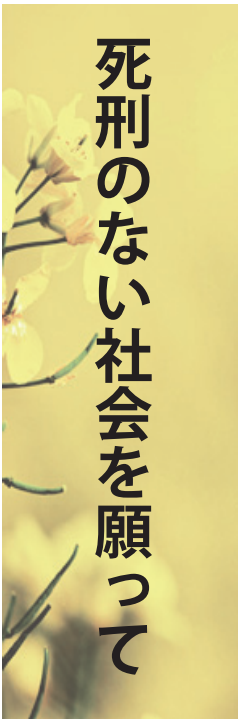
ある時彼は「先生、聖書を差し入れてくれ。読みたい」と言ったのです。早速、『新・旧、続編付き』を差し入れたら、彼はさつそく創世記から読み始めたのです。そしてエゼキエル書16章6節まで読んだ時「生きよ」という言葉に出会ったのです。「これは神サマが自分に言ってくれた」と思ったそうです。1315ページ！ここまでよく読んだものです。面会の時、彼は「先生、神サマは俺に生きよと言ってくれた」と大きな声で言いました。私は何も教えていません。教誨師として彼の話をただ聴いていただけです。私は驚きました。聖書を人に語ることをなりわいにしている者が聖書をはじめて読んだ少年に教えられたのです。少年に神サマの風が吹いた！吹き抜けていった！

と。古い人を脱ぎ捨てて新しいいのちに生きる人を目の当たりにしました。彼は少年院を出て今社会人です。そして私は教誨師として受刑者と対話を続けています。「あなたがたは、あたかも自分が獄につながれている者のように、獄につながれている人々を思いやり、また、あなたがたは自分も肉体を持っているのですから、虐げられている人々を思いやりなさい」。

（ブライ13章3節
フランシスコ会訳）



死刑のない社会を願って



カトリック教会は2018年『カトリック教会のカテキズム』を変更し、「死刑は許容できず、人格の不可侵性と尊厳への攻撃」として明確に反対の態度を定めました。また前田万葉大司教も2019年3月2日のシンポジウム「死刑、いま命にどう向き合うか」において、根元となるのは「命の尊厳」であるとし、「例え国家であつても人を殺すことはできない。皆がそう理解できる社会になることを祈ります」と話しました。もう一つ、死刑制度の問題において見逃し得ないのは、「取り返しのつかない」ことです。

1944年米国では14歳の黒人少年が、白人少女2人を殺害した罪で死刑判決を受け、電気椅子で刑が執行されました。担当白人弁護士は証人を召喚せず、反対尋問も行われないうちに、警察のわいせつ目的で殺害したとの主張にもとづき、わずか2時間の裁判と10分間の陪審員の評議で死刑判決が出されたのです。この判決は70年後に家族の度重なる再審請求を受け、証人喚問と弁論を行うなかで、死刑判決が破棄され少年の無実が確定しました。教会における死刑反対

キリスト者 死刑廃止ネットワーク

キリスト者死刑廃止ネットワークは、イエズス会社会司牧センターの柳川朋毅さんと日本キリスト教団室町教会牧師浅野献一さんを共同世話人として、教派を超え、日本のキリスト者として、今一度、死刑制度についてより深く学びたいという方のために、ネットワークを立ち上げたものでメールにて交流してきました。しかしメールだけでは交流が深まらないため、昨年5月からは毎月第4火曜日に1時間、Zoomでの交流会を開催しています。交流会では参加者の活動報告や死刑に思うことなどをフリートークで行っており、誰もが参加できます。過去9回交流会を開催しており、交流会要旨も作成しています。閲覧希望の方はお知らせください。

事務局：✉ tyanagawa@jesuitsocialcenter-tokyo.com (担当：柳川朋毅)

アムネスティ インターナショナル・日本



アムネスティは国際人権NGOであり、設立初期から死刑廃止運動に取り組んできました。死刑廃止活動は東京と大阪の2チームに分かれており、大阪チームでは次の取り組みを行っています。①毎月「死刑廃止入門セミナー」の開催、②全国への情報発信として機関紙年2回発行、③公開講演会の開催、④署名活動等の取り組みです。詳細はここでは書き切れないので興味がある方はホームページをご覧ください。▶ホームページ：<https://www.amnesty.or.jp/>

教会は呻吟せざるを得ません。死刑囚の処遇についても、確定死刑囚への聖体拝領が、ある拘留所で認められず、教誨師を介しての受洗希望も1年半放置されるなど、見逃すことができない状況にあります。何よりも神の恵みを必要とする人に、日本の国は信仰することを認めないのです。そのためにも法務省の「秘密主義」に対し「知る権利」を行使し、死刑制度の状況把握に努める必要があります。また、被害者の応報感情への同情が強い日本社会において、聖母マリ

アへの取りつぎが求められます。自分の息子を裏切り、十字架刑に追いやった弟子たちを、聖母マリアは受け入れともに祈ったときに、聖霊降臨の神秘は起こり、教会が誕生しました。私はそのことを深く心に刻みたいと思います。私が属する「キリスト者死刑廃止ネットワーク」では、毎月Zoomでの交流会を行い死刑問題について意見交換を行っています。ご希望の方はネットワーク事務局まで。

(門真教会 小野幸治)

募集

戦跡情報を
お寄せください

お住まいの地域にある戦跡についての資料やマップなどがありましたら、シナピスまでお送りください。平和旬間、戦争と平和について考えるための記事づくりにご協力をお願いいたします。不明な点もシナピスまで。

▶戦跡情報提供・問合せ

〒540-0004

大阪市中央区玉造2丁目24-22

社会活動センター シナピス宛

☎ 06-6942-1784 FAX 06-6920-2203

✉ sinapis@osaka.catholic.jp



「カテキズムの学び」 第33回「姦淫してはならない」(後半)

十戒の第6の掟である「姦淫してはならない」の後半、夫婦における項目について2月24日に学びました。講座の様子は下のQRコードから視聴できます。

今回取り上げたカテキズムの2360-2400番には、実に9回も同じ言葉が使われています。それは「与え合う」という言葉です。たとえば……、

夫婦の行為が真に人間らしい方法で行われるならば、相互の与え合いを意味し、これをはぐくみます。夫婦はこの相互の与え合いによって、喜びと感謝のうちに互いを豊かにします。(2362番)

双方が互いに自らを決定的に、余すところなく与え合います。もはや二人ではなく、ただ一つのからだとなります。(2364番)

子供は、夫婦の相互愛に対して外部から付録として与えられるものではありません。夫婦相互の与え合う心の中から生まれ出るものであり、その実りであり成就なのです。(2366番)

人間同士の愛は「試み」を許容しません。二人が互いに自らを全面的に、決定的に与え合うことを求めるのです。(2391番)

「与える」という行為は「受ける」と違い、自分の意思で行動することが必要であり、「好きになる」「好きなようにする」と違って自分の感情をコントロールすることも求められます。そして、「～合う」というのは、人として対等のコミュニケーション(交わり)を伴うことです。ですから、「与え合う」というのは、人として最高の行為である「愛する」ことの本質なのです。

カトリック教会が、配偶者間か否かを問わず人工授精や人工受胎を否定しているのは、それが「性行為と出産行為とを切り離している」(2377番)からです。

(そのような行為は)性行為と出産行為とを切り離しているからです。子供の誕生の原因となる行為は、もはや二人が相互に与え合う行為ではありません。(同上)

夫婦が互いを与え合うことは、私たちにご自身を与えてくださった神の似姿となる神聖な道なのです。



◀ YouTube動画視聴

(文 酒井俊弘補佐司教)

ロシア軍によるウクライナ侵攻の惨状に、国際社会は怒りと悲しみに満ち、世界各地で平和的解決を願うデモが行われ、現地へ寄付や救援物資が送られています。



寺院から配給されるナンで飢えを凌ぐアフガニスタンの子どもたち

そんななか、私は教会共同体のありがたさを肌で感じています。何よりもまず「一緒に祈ろう」と多くの人が声をかけてくれました。インターネッ

ト上でわざわざ数日間の呼びかけにもかかわらず200人以上の人が同じ時間とともに手を合わせました。祈りは、ウクライナだけでなく、ロシアの人びとのため

に祈りました。その人ばかりで自分の国が欧米諸国から経済制裁を受け、飢えに苦しんだ経験をもつていたからです。また、

ある難民申請者は「私への支援はもういいですから、教会はウクライナを助けてください」と願いました。教皇フランシスコは「ウクライナの人びとと同じく、シリア、イエメン、エチオピアなどの国の人びとのために」と祈られました。世界を見渡せば、ウクライナと同様に大国の侵攻を受け、殺戮に遭い、国を追われ難民となった人が大勢います。教皇は報道の有無にかかわらず、苦難に満ちた全ての人びとのために祈ろうと呼びかけます。

もう一つ、私にとって感謝すべきは、人生の先輩であるご高齢の方の存在です。特に戦争を体験された方の言葉は重く、

平和を祈り、平和を受け継ぐ

「生きる」——難民移住者

めにもさざげられました。ある国の出身者は、特に恐怖政治のもと命がけで戦争を阻止しようとして

ある難民申請者は「私への支援はもういいですから、教会はウクライナを助けてください」と願いました。教皇フランシスコは「ウクライナの人びとと同じく、シリア、イエメン、エチオピアなどの国の人びとのために」と祈られました。世界を見渡せば、ウクライナと同様に大国の侵攻を受け、殺戮に遭い、国を追われ難民となった人が大勢います。教皇は報道の有無にかかわらず、苦難に満ちた全ての人びとのために祈ろうと呼びかけます。

もう一つ、私にとって感謝すべきは、人生の先輩であるご高齢の方の存在です。特に戦争を体験された方の言葉は重く、

深く、私の心に響きます。その方がたから「いま必要とされる人のために、躊躇(ためら)わずにしっかりと働きなさい」と背中を押してもらっているのを私は実感しています。

シナピスでは今日も変わらず、ウガンダ、チュニジア、中国などの庇護希望者のために力を注いでいます。ウクライナのために祈りつつ、自分が出会う目の前の人に向き合います。戦争のおごさを知る方が私たちに残してくださった平和を、今度は私たちが世界の人びとにつながりつつ、受け継いでゆく側にならないといけないと思っています。

(文 シナピス事務局
ビスカルド篤子)

新しくなる典礼①「ミサ」が変わってしまうの？

『新しい「ミサの式次第と奉献文」の変更箇所』
～ 2022年11月27日(待降節第Ⅰ主日)からの実施に向けて ～



「ミサ」が変わってしまうの？

「ミサ」が変わるのではなく、「ミサの式次第と奉献文」の表現が変わるところがあるということです。では、改訂の理由と改訂作業のプロセスを説明しましょうね。



【新しい「ミサの式次第と奉献文」への改訂作業の経緯】

第二バチカン公会議後の典礼刷新を受けて改訂された『ローマ・ミサ典礼書』のラテン語規範版の初版は1970年に発行され、さらに改訂が加えられ、1975年に第2版が発行されました。現行の日本語版『ミサ典礼書』は、この第2版に基づいて1978年12月に発行されたものですが、規範版の全訳ではなかったため、典礼聖省からは暫定的な認証を受けて使用されることとなりました。

発行から10年後の1988年以降、日本語版『ミサ典礼書』に対するさまざまな意見や要望が「全国典礼担当者会議」などを通じて寄せられたこともあり、1994年にはカトリック中央協議会典礼委員会が将来の本格的な改訂に向けた準備を始めました。2000年6月には、正式に『ミサ典礼書』改訂委員会の発足が司教団によって承認され、委員会は改訂作業に取りかかりました。

その後、2001年3月にバチカンの典礼秘跡省から典礼式文の翻訳に関する指針が公布され、規範版に忠実な翻訳が求められました。さらに2002年3月には『ローマ・ミサ典礼書』規範版3版が発行されたことで、すでに改訂を進めていた日本語の『ミサ典礼書』部分も含めて、この改訂作業全体を見直すこととなりました。

改訂作業は、ミサの主要部分「ミサの式次第と第一～第四奉献文」、「ミサの結びの祝福と会衆のための祈り」と「水の祝福と濯水」から始められ、改訂委員会は2006年4月にこれらを典礼秘跡省に提出し、文書によるやりとりだけでなく同省を直接訪問し、式文の日本語訳に関するさまざまな議題について協議を重ねてきました。その後も修正を重ねながら、ついに2021年5月23日(聖霊降臨の祭日)付で典礼秘跡省から前記の式文の日本語訳が認証されるに至りました。

『ローマ・ミサ典礼書』規範版には、これらの他にも多くの式文が掲載されていますので、残りの式文の翻訳作業も順次行われ、典礼秘跡省に提出する準備が進められています。



日本で、勝手に変えることはできないのね。長い、長い間の努力でこの改訂版ができたのね。

ミサの司式者だけでなく、信徒の奉仕者も会衆も、改訂の理由や背景などの理解を深めることが大切ですね。



実際に実施される、今年の待降節第Ⅰ主日の11月27日までに、準備しま～す。

(文・絵 大阪教区典礼委員会)

教区墓地・納骨堂使用者の皆様

教区本部事務局長 チェジュ・モン 崔周永

墓地・納骨堂の管理費について

大阪教区の墓地・納骨堂は使用開始時に支払って頂く使用料と毎年支払って頂く管理費(共同納骨所は不要)で運営していますが、年間管理費の請求書が、お手元に届かない事が多くなっています。

そのことから『時報』2020年1月号で管理課へのご連絡をお願いしました。

大阪カテドラル聖マリア大聖堂納骨堂			
中山 篤子	角田 博章	伊藤 公一	垣田 典子
石川 誠子	菊地 錦年	田口タマエ	内藤 照子
田川 馨	桐田 よし	中村 次子	ビ オ
安達 律子	和泉七美枝		
大阪カテドラル聖マリア大聖堂納骨堂 (使用者が帰天 遺族の連絡先不明)			
乾 照子	櫻田たま子	筒井 芳子	相良 陶盈
西宮市立甲山墓園 (5区) 個人墓地			
岩元 栄一	内田 義江	多木 温久	金澤 史子
河 ふみゑ	河合 ひさ	熊谷 静男	鹿山 初子
鈴木 泰吉	田井 純	田口 昭実	谷 真人
西村 須美	濱口 隆造	菱田 輝克	平井 尊
福田 健事	前田 一八	政春 聖子	茂木ひで子
山下 秀生	山田 鶯子		
西宮市立甲山墓園 (5区) 個人墓地 (使用者が帰天 遺族の連絡先不明)			
巖 純子	小林 アヤ		
神戸市立鶴越墓園 (とべら地区) 個人墓地			
来島 利幸	渡邊 豊子	松本 瑞枝	川島 清子
濱田 勉	中ノ瀬敏彦	松山 馨	豊田 博稔
稲葉佳代子			
神戸市立鶴越墓園 (とべら地区) 個人墓地 (使用者が帰天 遺族の連絡先不明)			
和田 昭子			

しかし、まだ上記の方と5年以上、連絡がつかないままとなっています。ご本人様には管理課へのご連絡をお願いするとともに、親戚や知人の方などでご存知の方がおられましたら、本人に管理課まで連絡する様にお伝えください。また、上記の「使用者が帰天 遺族の連絡先不明」のことですが、ご遺族の方へご連絡をよろしく願いいたします。ご協力、よろしく願いいたします。

連絡先: ☎06-6941-9705(管理課直通)

来、見なさい



ヨハネ 1・46

※新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、イベントや勉強会が中止・または延期される場合があります。事前に各主催者へ直接お問い合わせください。

教 区 委 員 会 主 催

青年のための「司教と一緒に学ぼう」◆酒井俊弘補佐司教による学びと祈りと霊的指導の集い

対象 18～35歳の青年男女（高校生不可）

日時 毎月第3（日）17:00～18:30

場所 サクラ ファミリア

※当面休止

問 ㊦06-6941-9700

㊦youth@osaka.catholic.jp

主催 青少年司牧委員会

信仰養成連続講座◆カテキズムの第3編：使徒職

日時 4/28（木）18:30～20:00

講師 酒井俊弘補佐司教

場所 サクラ ファミリア /YouTube配信あり

問 ㊦06-6941-9700

主催 使徒職養成委員会

結 婚 準 備 講 座

夙川教会

日時 6/4～6/25（土）4回 16:30～18:00

参加費 ㊦5,000（2名）

問 ㊦0798-22-1649

六甲教会

日時 6/11～7/30（土）8回 17:30～19:00

参加費 ㊦10,000（2名）

問 ㊦078-851-2846

※事前要問合せ（年2回）

黙 想 会

宝塚黙想の家

◆一泊黙想会

日時 4/12（火）17:00～4/13（水）15:30

指導 稲葉善章神父

参加費 ㊦9,000

◆週末黙想会

日時 4/22（金）17:00～4/23（土）15:30

指導 染野治雄神父

参加費 ㊦9,000

◆日帰り黙想会

日時 4/12（火）・4/22（金）4/28（木）10:00～15:30

指導 稲葉善章神父（4/12）山内十束神父（4/22）染野治雄神父（4/28）

参加費 ㊦3,500

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・第3（水）10:00～12:00

指導 山内十束神父

参加費 ㊦1,000

◆ギリシャ語で味わう聖書のことば

日時 第1（火）10:00～12:00

指導 稲葉善章神父

参加費 ㊦1,000

◆カトリック教会のカテキズム

日時 第2・第4（水）10:00～12:00

指導 染野治雄神父

参加費 ㊦1,000

◆聖地エルサレムを学ぶ

日時 第3（木）10:00～12:00

指導 笹田六合豊修道士

参加費 ㊦1,000

◆修道者の召命黙想会（修道生活の召命を求めている独身男女）

日時 4月9日（土）10:00～11日（月）8:00

指導 未定

参加費 ㊦3,000

問 宝塚黙想の家 ㊦0797-84-3111

講 座 ・ 研 修 会

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音

日時 毎月第3（金）10:00

場所 神戸市勤労会館 404号室

参加費 ㊦1,000

問 岩村 ㊦070-5045-7127

主催 神戸国際支縁機構

コレーン神父と学ぶ聖書◆ルカ福音書を共に読む～C年ルカ福音書への導入～

日時 第2（月）13:30～15:00

場所 サクラ ファミリア

参加費 ㊦500

申込 サクラ ファミリア

問 ㊦06-6225-8871

㊦f.sacra@osaka.catholic.jp

聖書講座 和田幹男神父

◆聖書研究講座・ヨハネ福音書の序文（ヨハネ1：1-18）

◆新約聖書ギリシア語購読（ロマ書第7章）

◆旧約聖書ヘブライ語購読（創世記第22章）

※4月はいずれもお休み

場所 サクラ ファミリア

問 ㊦06-6225-8871

集 い

シナピス主催◆オンライン祈りの集い～世界平和のために祈ろう～

日時 4/7（木）20:30から30分（毎月第2木曜日・4月のみ第1木曜日）

テーマ 十字架の道行き

参加方法 Zoom（100名まで参加可能）

Zoomミーティング ID:761 071 2034

パスコード: 123456

主催 社会活動センター シナピス

問 ㊦06-6942-1784

㊦06-6920-2203

㊦sinapis@osaka.catholic.jp

㊦https://sinapis.osaka.catholic.jp/



大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15～35歳までの若者の集い

日時 第4（土）14:00～16:00

場所 大阪YCWセンター（またはZoom）

問 レネ神父・水元

㊦072-232-8063

㊦osakaycw@gmail.com

㊦http://www.ycw.jp/

精神・発達障害者自助グループ◆オリーブの集い

日時 第3（日）14:00～16:00

場所 姫里集会所

申込 吉川まで

問 ㊦078-583-2525

カ障連大阪フレンドリー◆点字部の勉強会

対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時 奇数月・第2（火）13:30～15:00

場所 姫里集会所

申込 笠松まで

問 ㊦090-5661-4324

㊦072-722-0271

㊦kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆アンドレ・ボーガルト神父（淳心会）

日時 第1（土）14:00

場所 大阪梅田教会

問 高塚 ㊦06-6921-0693

日時 第2（水）10:00

場所 姫路教会

問 坂本 ㊦090-1673-7467

日時 第3（月）10:00

場所 加古川教会

問 佐藤 ㊦079-435-1157

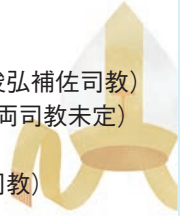
日時 第4（土）10:30

場所 六甲教会

問 阿部 ㊦078-843-0433

司 教 予 定

- ・4/13（水）11時 聖香油ミサ（前田万葉大司教・酒井俊弘補佐司教）
- ・4/14～16（木金土） 聖なる三日間（両司教未定）
- ・4/24（日）14時 夙川ブロック堅信式（酒井俊弘補佐司教）



行 事 等 日 程					
4 月					
2	土	大阪教区司祭聖地巡礼 (11月に延期)	15	金	聖金曜日 (主の受難・大斎・小斎) 聖地のための献金
7	木	〔常任司教委員会〕	16	土	聖土曜日
10	日	受難の主日 (枝の主日)	17	日	復活の主日
5 月					
13	水	11時 聖香油ミサ 司祭金銀祝 (カテドラル)	8	日	世界召命祈願の日
			11	水	10時 顧 問 会
			12	木	〔常任司教委員会〕
14	木	聖木曜日 (主の晩さん)	18	水	10時半 第193回 司祭評議会

案 内 ・ 報 告

主日ミサ時間変更

【串本教会】 ㊦9時

【新宮教会】 ㊦11時半

※変更は両教会とも4月17日（復活の主日）～10月第一日曜日まで

時 報 掲 載 記 事 の

アイディア募集

コロナ禍においても、さまざまな工夫をしながら活動を続けている小教区や団体がたくさんあると思います。そこで、皆様の奮闘記、また時報に掲載する記事のアイディアを募集したいと思います。氏名と所属名、提案する内容をお書きの上、上記連絡先にお送りください。編集部で検討の上、ご連絡いたします。読者の皆様からのたくさんアイディアをお待ちしています。

編 集 後 記

以前赴任していた教会の執務室から幼稚園が見えました。▼四月になると新しい園児がやってきます。園庭では、送ってきた保護者と園児が、今生の別れのよう泣きながら抱擁する姿が見られます。▼しばらくすると、そうです、連休明けには光景が一変します。寂しそうに見送る保護者を振り返ることなく笑顔で園児は園舎へと消えてゆきます。▼新聞に掲載された投書が目に残りました。「幼稚園って――幼稚園に入った三歳の孫娘。帰ってくるなり『幼稚園って、先生が一生懸命、歌ったり踊ったりするところだよ』と得意になって教えてくれた（新潟市、あなたも一生懸命やってね・59歳）。▼園児にはそう見えているようです。（広報委員会 川邨裕明）